

関係者各位

2021年4月に新しく生まれ変わる長野県立美術館（旧信濃美術館）に  
「ランドスケープ・ミュージアム」を象徴する《霧の彫刻》を設置します。

2021年4月10日に一新しリスタートする長野県立美術館では、美術館のコンセプトである「ランドスケープ・ミュージアム」（風景画のような美術館）の象徴的な作品として、世界的に活躍されているアーティスト・中谷芙二子さんに《霧の彫刻》の制作を委託しています。

本館と東山魁夷館の間の水盤周辺に設置された、自然現象を再現するかのような、霧を使った世界的なアーティストによる作品は、「ランドスケープ・ミュージアム」の基本コンセプトに合致し、自然との一体感をもたらすもので、周囲の環境の中のシンボリックな存在として多くの来館者にお楽しみいただけます。



新美術館イメージ©プランツアソシエイツ



Fujiko02\_photo by Laura Miglone

なかやふじこ  
中谷芙二子

1933年、中谷宇吉郎の次女として札幌に生まれる。

中谷宇吉郎は、雪の結晶を世界で初めて人工的に作った物理学者。

1952年、父に従ってアメリカに渡り、シカゴ郊外のウィネッカに住む。

1957年、イリノイ州ノースウェスタン大学美術科を卒業。

1958-59年、パリ（受入先：藤田嗣治）とマドリッドで絵画を学ぶ。

1960年、帰国。

1970年、大阪万国博覧会のペプシ館で、初めて《霧の彫刻》を発表。

1992年、国営昭和記念公園「こどもの森」に《霧の森》を設置。

2008年、横浜トリエンナーレにて三溪園で《雨月物語——懸崖の滝》霧の滝を発表。

2017年、ロンドンのテート・モダンで、《ロンドンフォグ》霧のパフォーマンスを実施。

フランス芸術文化勲章コマンドゥールを受章。

2018年、高松宮殿下記念世界文化賞を受賞。



2019 パリ/ラ・デファンス地区

長野県信濃美術館 広報・マーケティング室

〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4（善光寺東隣り）

TEL：026-232-0052 / FAX：026-232-0050 / E-MAIL：[npsam@npsam.com](mailto:npsam@npsam.com)